

NEWS RELEASE

平成 20 年 1 月 24 日

**電通、2010 年・2014 年の FIFA ワールドカップの
ホスピタリティ独占事業権を持つ MATCH Hospitality に資本参加**

株式会社電通（本社：東京、代表取締役社長：高嶋達佳、以下電通）は、2010 年・2014 年の FIFA ワールドカップ、2009 年・2013 年の FIFA コンフェデレーションズカップ、2011 年の FIFA 女子ワールドカップ 5 大会のホスピタリティ事業の独占運営・販売権を取得している MATCH Hospitality AG 社（本社：スイス、取締役会長：Jaime Byrom、以下マッチ・ホスピタリティ）の株式 25%をその親会社である Byrom Holdings PLC 社（本社：英国、以下バイロム）から取得することで基本合意した。

電通は、今回の出資によりマッチ・ホスピタリティに取締役 2 名を派遣するとともに、2002 年 FIFA ワールドカップ™ 日韓大会及び 2006 年 FIFA ワールドカップドイツ大会に引き続きホスピタリティ事業に関与することになる。電通グループは、2010 年 FIFA ワールドカップ南アフリカ大会をはじめとする 5 大会でワールドワイドにホスピタリティパッケージ*¹のマーケティングをサポートする。

電通は、既に 2007 年から 2014 年までの FIFA ワールドカップを含む FIFA 主催大会の日本国内の放映権を取得し、併せて日本企業に対するマーケティング権利に関しても、FIFA から独占セールス・エージェントに指名されている。アジア地域の放映権については、電通と Infront Sports & Media AG 社（本社：スイス、以下インフロント）の合弁会社である Football Media Services Pte. Ltd.（本社：シンガポール、以下 FMS）が、FIFA より独占セールス・エージェントに指名されている。

マッチ・ホスピタリティへはインフロントも資本参加を決めており、FIFA と関係の強いバイロム、電通、インフロントの 3 社が株主となることにより、マッチ・ホスピタリティの経営体制が強化されることになる。

* 1 ホスピタリティパッケージ：観戦チケット、スタジアムでの飲食、ギフトなどスタジアムでのホスピタリティサービスをパッケージ化した FIFA 公認公式プログラムで、主に企業向けに販売される。

<各大会概要>

- 1) 大会名称 2010 FIFA ワールドカップ南アフリカ大会
開催国 南アフリカ
開催期間 2010年6月11日～7月11日
- 2) 大会名称 2014 FIFA ワールドカップブラジル大会
開催国 ブラジル
開催期間 2014年6月～7月(予定)
- 3) 大会名称 2009 FIFA コンフェデレーションズカップ
開催国 南アフリカ
開催期間 2009年6月14日～28日
- 4) 大会名称 2013 FIFA コンフェデレーションズカップ
開催国 ブラジル
開催期間 2013年6月(予定)
- 5) 大会名称 2011 FIFA 女子ワールドカップ
開催国 ドイツ
開催期間 2011年9月(予定)

<マッチ・ホスピタリティ概要>

名称 : MATCH Hospitality AG
本社 : Zug、Switzerland
資本金 : 10万スイス・フラン
代表者 : Jaime Byrom

<FMS概要>

名称 : Football Media Services Pte. Ltd.
本社 : シンガポール
資本金 : 200万米ドル
株主 : 電通 50%、インフロント 50%
議長 : 秋山 創一(電通 執行役員)
社長 : Michael Francombe

以上